

北陸農政局男女共同参画優良事列表彰式の実施について

北陸農政局では、局に置かれた男女共同参画推進本部の活動の一環として、平成18年度から農林水産業、農山漁村における男女共同参画の実現を目指して経営参画や社会参画等において顕著に功績のあった団体及び個人を表彰するとともに、その活動事例を広く紹介することとしております。

平成20年度についても、管内各県知事からの推薦を受けた候補者について、男女共同参画推進本部の審査を経て、5名の方を北陸農政局長賞受賞者として選出し、下記のとおり表彰式を実施しました。

記

1 表彰式

日 時：平成21年2月4日（水）13:30～

場 所：金沢広坂合同庁舎1階大会議室（金沢市広坂2丁目2番60号）

式次第：開会の辞

受賞事例の紹介

北陸農政局長賞授与

農政局長あいさつ

閉会の辞

受賞者と局長等との意見交換会



2 表彰点数

北陸農政局長賞 計5点

経営参画部門 3点

社会参画部門 2点

3 受賞者

部 門	団体及び個人名	
経営参画	あらや りえこ 氏 新 谷 梨 恵 子	新潟県小千谷市
経営参画	ふるい シズエ 氏 古 井 シズエ	富山県 富山市
経営参画	ぬのだに ふみこ 氏 布 谷 富 美 子	福井県 坂井市
社会参画	うら 久美子 氏 浦 久 美 子	石川県 白山市
社会参画	ひさの あさこ 氏 久 野 朝 子	福井県 越前市

4 受賞者の活動事例紹介

〔経営参画〕

^{あらや} ^{りえこ}
新 谷 梨恵子 氏（新潟県小千谷市）

結婚を機に生活の拠点となった小千谷市で、地域に根ざした農業のできる生活を目指し、地元の町おこしグループ「キラリ真人」や4Hクラブ「こいこいクラブ」に加わり活動する他、大学時代の知識や技術を活かしてさつまいもの加工等に取り組む中、有限会社「農園ビギン」の社員となり、「さつまいもプリン」を開発・商品化し、会社経営を大きく発展させた。

また、会社経営の加工部門全般を担う中で、女性が子育てしながら安心して農業に関われる環境を整えるとともに、おぢや男女共同参画プラン懇談会委員として地域住民との交流、都市と農村の交流、男女共同参画の推進などに取り組み、農村女性の代表として、リーダーシップを発揮し地域の活性化に大きく貢献している。

^{ふるい}
古 井 シズエ 氏（富山県富山市）

有限会社「ファーム古井」の加工部門を担い、惣菜、草餅、おこわ、米粉入りパイ・パン類など年々商品開発を進め、中でも自家生産の米・りんごを使った「米粉入りアップルパイ」は消費者に好評で、経営を担う柱の一つに育ち、女性経営者として女性の感性や能力を発揮するなど、女性の経営参画を実現し、起業活動を積極的に展開している。

また、地元の女性農業者と富山市中心商店街交流施設「樹の子」の直売活動に参加し、「とやま地産・味こだわりの会」会長として、地元商店会と連携し、地産地消の推進、イベントの企画などに取り組み、地域の女性リーダーとして女性の社会参画や地域の活性化に多大な貢献をしている。

^{ぬのだに} ^{ふみこ}
布 谷 富美子 氏（福井県坂井市）

自らのアイデアを活かして開設した「ひだまり農園」で、収穫体験などを通して生産者と消費者の交流を深めるとともに、女性農業経営者として自立するため、三国町内で初めての家族経営協定締結や女性認定農業者として経営の安定を図り、地域の農業経営の模範となっている。

また、野菜ソムリエの資格取得や食育ボランティアに登録し、地元野菜を使った料理を消費者に教えるなど、地産地消、食育促進活動に取り組むとともに、専業農家女性の会「実輪の会」代表や男女共同参画推進委員、農業委員などを務め、女性の声を反映した農村社会づくりに向け、農村女性リーダーとして地域の活性化に大きく貢献している。

〔社会参画〕

浦 久美子 氏（石川県白山市）

農協女性部活動に熱心に取り組み、県酪農業協同組合女性部代表、市農山漁村女性活動推進協議会委員として活動するかたわら、JA白山女性部長として白山市内の直売所が協力して開催する「白山麓一斉ふれあい市」の定着に尽力するなど、地域の活性化に寄与するとともに、自らも家族経営協定を結び、家族同士が連携して酪農業に携わるようになった経験を基に、家族経営協定の推進に取り組み、同市内での家族経営協定締結や女性農業委員誕生の流れを作った。

また、石川地域農山漁村女性連絡会会長として県が農山漁村における男女共同参画の構築に向けて策定した「男女共同参画 i & i プラン」を推進し、女性の役割をより発揮するための活動を続け、女性農業者の社会的地位の向上や活動促進に多大な貢献をしている。

久野朝子 氏（福井県越前市）

農村活性化推進員として、農村地域の現状や課題を県普及組織につなぐパイプ役として活躍するかたわら、農業委員を務めた際に、子供たちの農業への関心が低くなっていることに危機感を感じ、仲間で食育活動を推進する「JYU菜々」を組織し、紙芝居やおにぎり作り体験など、子供たちが農村や農業に興味を持つ活動に積極的に取り組んでいる。

また、農業・農村づくりのリーダー、越前市食育推進検討委員として、行政、食育ボランティア、市民グループが連携して食育を進めるきっかけや「食育実践プログラム」を市長に提言するなど食育活動を推進するとともに、県農政推進協議会委員として、今後の農政の方針を定める重要な役割を担い、女性農業者の育成や男女共同参画の促進に大きく貢献している。



左から、米野生産経営流通部長、久野朝子氏、浦久美子氏、布谷富美子氏、内村局長、古井シズエ氏、新谷梨恵子氏、月山局次長。